

(様式3)

事業所名 やすらぎホーム 希望の家

目標達成計画

作成日：平成27年12月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	高齢化と認知症の進行が進み、生活上の安全面への配慮や利用者個々の、出来る事・出来ない事の判断・支援の程度が、職員の能力によって、差が現れてしまう。	1人ひとりの残存機能を正確に理解し、その人に合った援助を、全職員が統一して出来るように研修や実践の充実を図り、職員全体のレベルアップに繋げる。	全職員による、個々の利用者の機能レベルの検証(職員会議)と、過剰介護にならないための、さらなるレベルアップを図る介護技術習得(ベテラン職員による、実践的技術の講習)をいつでも行い、職員全体の技術向上を図る。	12ヶ月
2	47	地域のイベントや花見など、外出支援に力を入れて来たが、高齢化が進み全体での外出が困難になってきている。	これからは、少人数での外出で、利用者個々の要望に合わせた支援を行う。時間を見つけて短時間でも出掛けるようにする。	短時間で、疲れのない程度のドライブ計画を立てる。また、利用者に多くの情報の提供を図り、自ら行きたいと意欲を持てるようにする。時に普段行くことがないような場所へも行けるように計画を立てる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。